

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

話を聞いて、しっかり備えないといけないなと思ったし、朝だったから、けが人はいなかったけど、授業中とかに地震が来たりして、避難場所が崩れるかもしれないと思うととっても怖いです。人を二度死なせないようにしっかり繋いでいかないけないなと思いました。まだ大きな地震を体験してないけど、被害を受けた人たちがどれだけ不安だったか新聞を見てわかったし、家族を失ってとっても辛いと思うけど生きていることがありがたいとか被害を受けてすぐに復興しようとしてる前向きな姿にすごく尊敬します。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

震災はいつ来るかわからないしそれが家族や友達と喧嘩しちゃった時とかだったらすごく後悔すると思います。いつどこで何をしている時に来るかわからないので生きてられることをありがたく思って日々を過ごそうと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんが言っていたように、人を2回も死なせないと言っていたことが今はとても大事なことだと思えるようになりました。
校長先生の話聞いて思ったことは、校長先生は地震に関心を持って他の世代へと繋げていったことを知り、校長先生から何千人にも阪神淡路大震災のことが広まっていったと考えるととてもすごいなと思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

地震というものはいきなり来るし、原爆と同じように無差別に人を傷つけ、殺してしまうものなんだなとおもった。
自分にこれからできることは地震に備えることと、地震を忘れずに伝えていくことが大事だなと思いました。
だから非常用のものを備えたり、校長先生のような立場になったら伝えて行きたいと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんの授業では、人は2度死なせないということを疑問に思いました。でもその話を聞いてみると確かにそうかもしれないと思いました。人はまず一回なくなり、二回目はひとにわすれられると三好さんは言っていました。それがもし自分が忘れられる側になったらどんだけ悲しいかと思いました。だから身近な人がもし亡くなってしまったら天国でも元気に過ごしてくれるようにその人のことは忘れてはいけないと思いました。

校長先生の授業では、その当時の新聞がいっぱいありました。死者何千人と言う新聞や他にも亡くなった人の名前いろんな新聞がありました。その新聞には、ガスの復旧総額1900億円と言う見たこともない金額が書かれていてびっくりしました。そして新聞を見ているとその頃の大変さがすぐわかりました。そして校長先生の話を知っていると後輩にもこのこと伝えてほしいと言う気持ちがよくわかりました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

今後は、地震が今いつ来てもおかしくないと言われていていつ来てもおかしくないということは、今日来るかもしれないし、明日来るかもしれないだから非常用バックとかそのほかにもペットがいたらその動物にもいる食料そして自分たちがすぐ逃げれる安全な場所を探しておかなくてはならないと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

震災はとても恐ろしいものだとかわっているし、南海トラフも生きていっているうちに1回は来るって言うことも聞いたことがあったから、もし震災が起こって家族が亡くなってしまっても喧嘩したから後悔しているとかを無くすために毎日喧嘩とか言い合いとかにならないように気をつけているけどたまになる時があるからそれを治さないと行けないなと思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

何回同じ話を聞いても震災は恐ろしいものでいつやってくるかは分からないものだと毎回思います。

だから、いつ地震や津波が来てもいいように非常食や高台の位置などを覚えておいてすぐ避難できるようにしようと思いました。

あと、初めて聞いた言葉がありました。それは、「人は2度死ぬ」この言葉を聞いた時に、2度死ぬってなんだろう？と思いました。でも、三好さんの話を聞いて納得しました。心も死ぬってことを覚えたので震災が起きても人を2度死なせないようになにかできないのかなとおもいました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんの話を聞いて私は、人を2度死なせないために今日聞いたことを次の世代の人に伝えて行こうと思いました。まずは、家族に昔地震で多くの被害があったということを伝えていこうと思いました。地震の恐ろしさや、亡くなった人の数を見るととても驚きました。もしこの時代に私がいると、と考えるととても怖いです。

校長先生の授業で、私は新聞をなかなか読まないのですが、新聞には生の人の思いやその時どんなことがあったのか、実際の写真がのっていたので新聞はすごいと思いました。地震の時の実際の風景や、その時の市民の声は、聞いたことのなかったので、このことを忘れないようにしていきたいです。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

私は、今回三好さんの話と、校長先生の授業を通して地震は、とても怖いしさらにいつどこで起きるか分からないので、そのための備えをしていこうと思いました。あと、三好さんの言った「人は2度しなせない」という言葉を絶対に忘れずに、昔地震が起きて多くの人に被害があったということを伝えていこうと思いました。こうして伝えていけばまた、次の世代の人でもそのまた次の世代の人でも、このような恐ろしい地震が起きたということを知ることができるので、私はまず家族の人に伝えていきたいと思います。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんのお話で、「人を2度死なせない」という言葉が深く心に残った。家族の中で自分一人だけ生き残った女の子もいて、その子がもしも私だったら、生きるのが辛くなってしまうと思う。だから、震災後肉親を失っても生き抜いて、未来に希望を持って生き続けた人たちを尊敬する。あの震災の日、被災者達はどんな思いで生き抜いてきたのだろうか。

校長先生の授業で長い期間の新聞を読んでも、励ましの言葉やその時の被災者にとって嬉しいことがたくさん書いてあって、その言葉の裏に、悲しいことや辛かったことがあるのだろうかと思った。

私は校長先生の授業で新聞を読み、いちばん心に残った言葉は「救いの祈り」。まだ苦しい生活をしていたであろうとき、本当に苦しかったのだと思う。ただ、祈ることしかできなかったのかなと思う。

だからこそ、戦争の話と重ねて聞いて本当に、本当に当たり前すぎてすぐに崩れることなんだなと感じた。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

全てを通して感じたことは、「人を2度死なせない」「当たり前は当然じゃない」この二つを大きく感じた。

今後は、次に来ると言われている「南海トラフ地震」に備え、食料の確保や、タンスなどが倒れてこないように固定したり、安全な場所を考えたりして置かなければいけないと思った。そして、もし家族がそれぞれ別の場所にいる時に地震が起きても、必ず再開できるように工夫をしなければいけないと思った。

当たり前はちょっとしたことですぐに崩れてしまうので、戦争や地震があったことをしっかり思って、これから生活しようと思った。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

当時の被災した人々は、肉親や友達(など)が死んでいるはずなのに、新聞の写真などではみんなが笑顔を保っていて、とても辛いはずなのになんで笑顔でいれるのかが、不思議に思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

さらに防災の意識を高めたり、1.17の教訓を後世にも伝えていきたいと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

校長先生が見せてくれた体育館の骨組みが落ちてきた写真が印象的でした。他の小学校が壊れたりしているのはたくさんみたことがあるけど、私たちが通っている小学校の体育館も壊れたということが恐ろしかったです。体育館で地震が起こったら真ん中の方に避難すると思っていたけど、校長先生が壁際に避難するということを教えてくれ、知れてよかったです。骨組みが落ちた時に生徒がいなくて本当に良かったです。

三好さんの話を聞き、自分の家族や友達が亡くなっている人も働かないといけないのが大変だと思いました。震災の時に出された新聞は、当時の人たちの希望になる大切なものだったと思いました。新聞を見る人たちを少しでも励まそうとする神戸新聞の人たちがすごく素敵に見えました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

人は二度死ぬということを知って、私も震災のことを考えて絶対に忘れないようにします。少しでも多くの方が阪神・淡路大震災のことについて知り、絶対に亡くなった人が二度目の死を迎えないようにしたいです。

私は、「この辺りは強い地震は来ないだろう」と思いきっていましたが、当時の人も同じことを思っていました。地震は来たので、私も地震のことをより自分ごととしてこれから考えます。そして、30年以内に来ると言われている南海トラフ地震のためにも防災グッズをもう一度見直すことが大切だと思いました。非常食の消費期限が切れているか確認し、犬の防災グッズがないので作ることが必ず必要だと学習を通して考えました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

なんで阪神淡路大震災からは31年も経ったのにその話を話し続けているのだろうと最初は思っていたけど本当の震災を知っている三好さんや校長先生、他にもいると思うけどその人たちが受け継いでいかないとまた同じような大きな地震がきたときに対策も何もできていないままだったら自分の身を守れないから本当の震災の話聞いた若い人たちがどんどん次の世代に言っていった方がいいんだと思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

震災は本当に怖いし二度と起きてほしくないものだけどこれから30年以内に大きな災害（南海トラフ）が来るかもしれないからそれまでに三好さんの学習で聞いたことや校長先生から聞いたことを活用していきたいと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんや校長先生（金井有一郎）のお話を聞いて1995年1月17日阪神淡路大震災が起こりその時の話を聞いていた時震度七強ほどの地震が起こり神戸の町が被害に遭い被災者の方々は、自分のためだけでなく人の為にもいろいろなことをしてとてもすごいと思いました。だからみんなの協力があった子その今神戸の街がると思います。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

阪神淡路大震災や南海トラフ地震、東日本大震災などの大きな地震はいつ来るかそれに何回来るかということはわからないので日頃から地震が起こり二次災害の津波が来た時に逃げるときも決めておくなど日頃からいろいろな事ができると思うのでヒゲ路から準備しておこうと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

もともと知っていたことではあったが、ビルの中で実際に経験した人の生の声は重みがあって、その時の凄さがわかった。ごおおおっと地響きをするのは知っていたが、はじめ少し横揺れでそのあと縦揺れというのは初めて知った。洲本の5人家族が、1人を残して全員死んでしまったのがびっくりして、その遺された人はどんな気持ちで生きていたのだろうと思った。何も関係のない人々が死んでいく地震はよくないと思った。人を二度死なせないというのが心に響いた。その人たちを忘れずに、これからの教訓にしていくのが大切だと思った。校長先生が、話している口調が普段とは違って、震災は人を変えてしまうのだと思った。新聞でリアルな声や、水の情報などを発信していたのが意外で、みんなで助け合ってやろうという意思が感じれてよかった。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

この学習を通して、やっぱり日々の備えが大切だと思った。関西には地震が来ないと慢心していたから、多くの死者が出たのだと思うし、小さな地震でも次の大きな地震につながることもあるから、それにもしっかり注目していくべきだと思った。色々なものが飛んできたりするから、固定したり、飛んできても大丈夫な場所に身を隠すことが大事だと思った。やっぱりなぜ神戸が復興できたかという人と人が協力しあったからできたので、人と人の連携はとても大事なのだと思った。しっかりきた時のためにその時のための知恵を蓄えておかなければならないと思った。例えば校長先生が言っていたように、広い場所に避難してきたとしても、屋根が落ちてくる危険があるから、その時その時で判断して壁際に避難した方がいいと言われていました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

- 1.17のことを大事に考えずに避難訓練に参加していたけど、三好さんの話や校長先生の授業を聞いて、避難訓練に参加するときは南海トラフ巨大地震のことを考えながら、避難訓練に参加しようと思いました。
- 校長先生の授業で、新聞を見た時に2月の日にちは忘れたけど、震災から初めての大笑いと書いた記事が目に入って、1ヶ月くらいは小さい子たちも笑えなかったんだなと思うと、地震はいろんな人の幸せを奪っていくんだなと思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

- 私は、まだ大きい地震を体験したことがないけど、新聞の記事を見たり、話を聞いたりしただけで恐ろしかったので、私たちが生きている中で絶対に南海トラフ巨大地震が起きるから、1.17のようなことが少しでも起きないように地震が起きる前に対策をしていきたいなと思いました。
- 被災者は、大切な人や家族が亡くなって絶望だったと思うけど、誰か一人でもまだ街は戻ると信じていたから、今の神戸市があると思いました。
- 今後は、家族で避難場所を確認したりハザードマップをみて家族で、どこに逃げるとか、誰かに連絡をするということを家族で話し合っ決めてたいと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

今までは地震の代表な事を聞いてきたけど三好さんの話で震災の詳しいことを聞いてきて僕は震災ではまだいろいろな苦痛があったんだなと思いました
校長先生の話では新聞紙では震災で亡くなった人の人数じゃなくて亡くなった人の名前が1人ずつ書いていて、通勤に痛勤が書いてあって今までは一時間で仕事場に着くけど震災後は三時間以上かけて仕事場に行かないと行けないからとても辛かったんだろうなって思いました

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

僕は被災者たちは諦めなく希望に向かって走っていったからだんだん街が復興して行って今があるのかなと思います
今後僕は地震がきても大丈夫なように高台がどこにあるか覚えて避難所もどこにあるか家族と相談しておこうと思います

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんが流してくれた映像や写真でその頃いかに苦しくて助けを求めたかと言うのがよく分かり、そしてその人1人1人が1度死んでしまった亡くなってしまったという事もよくわかり三好さんが言っていた人は2度死ぬが心に刺さりました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

三好さんが言っていた人は2度死ぬをもう繰り返さない亡くなる人を少なくしようと思い家の非常カバンに水やようかん、絆創膏など沢山買って準備をしましたそして避難通路も見返しどこにどうやって行くのかも見直しました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

阪神・淡路大震災は最初震度7という言葉聞いてもあまり想像がつかなかったから三好さんの話を聞き、地震にしては死者が多すぎるのでただの地震ではないと思い、なぜ阪神・淡路大震災がこんなに言い継がれているのかがよくわかりました。けれど震度七の強さはその話を聞いてもイマイチわからなかったので、神戸新聞の7日間というドラマをみ、震度7の揺れの強さがはっきりわかりました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

震災は小さくてもものがおち頭をうったりするし、大きければ大きいほど死亡率があがるということがとてもわかった。
また、阪神・淡路大震災は普通の地震とは全然違うので、これらのことを受け継いで言ってほしいなと思いました。
今後このようなことが起きた時ベットの上にといたら布団をかぶって自分の頭を守り、体育館（天井の場合）は端によるということを覚えておきます。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんのお話の「人は2度死ぬ」という言葉が特に印象に残りました。なぜなら、人は忘れられた時に死ぬという言葉はもともと知っていたけど、それは普通に暮らして病気で亡くなってしまった人を忘れないようにしましょうねという意味だと思っていたけど、震災などで亡くなられた方を忘れないためなのはもちろんのこと震災の悲劇を忘れないために人を2度死なせないというのは亡くなった人を弔うだけじゃなく、これからも人を亡くさせないという意図が感じられたからです。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

震災の学習を通して考えたことは、自然にはどうやっても抗えないということです。なぜそう思ったかという、地震に備えることはできるけどどうやっても地震が発生するのは止められないからです。そして、だからこそ日頃から災害に対して備えておくのがとても大切だと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さん

- ・ 何度も言っていた『二度死なせない』がとても心に残っています。
- ・ 実際、阪神淡路大震災を経験した三好さんだからこそ言える、ものを聞いて、説得力があり、とても嬉しかったです。阪神淡路大震災で藤江小の体育館がめちゃくちゃに壊れ、地震が来たらみんな真ん中に逃げると知っていたけど、場合によっては窓側に逃げないといけない時もあることが分かりました。
- ・ 阪神淡路大震災をもとにした動画を見たときに、こんなに阪神淡路大震災は揺れて、家もめちゃくちゃになったことが知らなくて、親に聞いてみたけど、「ものすごい揺れたよ」と言っていました。こんなにも揺れていたのにも関わらず、三好さんや校長先生は生き延びたことがすごいと思いました。

校長先生

- ・ 新聞に阪神淡路大震災の被害を受けたが、頑張っている人々の顔や、ボランティア活動をしている人々の姿が主に書かれてありました。その中にも亡くなってしまった人の体の一部を袋に入れ、抱きしめている人もいました。阪神淡路大震災とはこれほど恐ろしいものだとは知らず驚きました。
- ・ 黒板に、キャッチしたことや、思ったことを書く時間の時に自分が一番心に残ったのは、亡くなった人の数や、人数を見るのと、どんな子が亡くなったのかや、何歳の子なのか、お名前はなんなのかなどを見るのとは、感じ方が全然違うことです。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

今まで地震の怖さは、なんとなくわかっていたけど、これほど恐ろしい地震が、兵庫県内で起きたということが分かり、とても驚きました。僕が生きていの中で一度は地震を体験するときが来るから、そのためにも、今まで以上に地震への備えをして、いつ地震が来るかもわからない状況の中、いつ地震が来ても、すぐ逃げられるように準備していこうと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

阪神淡路大震災で沢山の犠牲者と壊れた物2時災害で死んでしまった人阪神淡路大震災で家族を無くした人たちまだまだ生きれた人達そんなお話を聞いた時は悲しくて泣きそうになりましたですが「人は2ど死ぬ」1度目は肉体的な死2度目は人から忘れられたときと聞きました阪神淡路大震災から31年後の世代に私たちが語り継いでいくべきだと思いました。なので資料を集めてみようと思います。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

阪神淡路大震災はとても大きい災害でしたが私たちが生きているうちに南海トラフ地震があると言っていましたなので私は非常食を用意しましたそして今度の休日にハザードマップをもらおうと思っています。あとは懐中電灯を用意しました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

お話を聞いて「怖い」とか「嫌だ」とかだけの感想終わってはいけない。忘れてはいけない震災ということがわかりました。この阪神・淡路大震災は今考えてる自分の想像と当時が全然違って悲惨でご飯もおかわりなんかできたもんじゃないし、お風呂も入れないそんな極限の中で生きてて本当に頑張ってるし地震の恐ろしさがたくさんわかって見る目線が変わりました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

まず、絶対に日頃から地震の備え（食べ物など）をしておこうと思いました。そしてやっぱり被害者の人たちのためにも下の学年や人たちに被害の恐ろしさを伝えて、忘れないように教えていきたいと思いました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さんの話を聞いて亡くなった人をしっかりと覚えることで三好さんが言っていた「人を二度死なせない」をできると思いました。また考えた事は阪神・淡路大震災で亡くなった人達はただ地震を受けて亡くなったのではなく、ガラスの破片やものが倒れてしまったものや火事で亡くなった人がいるのなら、いつ来るかわからない地震に対して厚みのある毛布などを事前にテレビやガラスや頭に当たると危ないものの下に置くのが対策だと考えました。

そして校長先生の授業で感じたことはあります。

まず一つ目は、最初は普通に三好さんの話を聞いた感想をみんなで45分話すのかと思ったけど、当時の阪神・淡路大震災について書かれている神戸新聞を読んで自分が心に残ったフレーズを黒板に書くという初めての授業で何を書いたら良いのかわからないことがあったけどみんなのを見るように当時の阪神・淡路大震災を受けた人たちが思っている、感情を書くことで受けた人の気持ちがわかるからと僕は思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

今にも地震は起きるかもしれないし、30年以内には南海トラフが来ると言われているから、今のうちに非常食などを準備をして生活することで災害からの対策するのがいいと思いました。

そして校長先生の話と三好さんの話から聞くと震災はあってはならないものだったり、人を二度死なせないのが一番心に刺さりました。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

各地の小学校の子たちも震災で亡くなったりしていると三好さんの話を聞きいたり、校長先生の授業で見た新聞に載っていた死亡者の一覧ページなどをみて、「震災で亡くなった人は僕たちと同じ年齢もいるし、数だけを聞いて思い浮かべるだけじゃなくて実際に新聞で書かれていたたくさんの人たちの名前を目に焼き付けないと行けないな」と思いました。そして未来もこのようなことがあるかもしれないから、普段から防災対策をすることなどはとても大事だと深く思いました。そして新聞には、事実しか書いていないと最初は思っていたけど実際に震災が起きてすぐの新聞を見るとそこには応援の言葉が見出しになっていたり住民の思いが書かれていました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

今回の学習で考えたことはいつ地震が起こるかわからないからいつも油断してはいけないということです。そしていつ起こっても対応できるように避難所の確認や非常食の用意、そして防災対策などをして普段から災害に備えておくことがやっぱり一番いいと思いました。そして今後は今日の聞いた話を忘れずに普段から防災についてお家の人と一緒に考えていきたいです。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

今普通に使っている藤江小学校の体育館も被害を受けていることを知ったし神戸にいた人が教えてくれたから本当にあったことをほぼ全部教えてくれてそして大きくわかりやすい資料を出してくれてしかも普通の大きなじしんと阪神淡路大震災の時の揺れ方の違い逃げ方の違いを教えてくれてこれからその地震があった時に生かせると思った
校長先生の授業では、地震が起こってすぐの新聞を見ていろいろな人の言葉や怪我人、死んでしまった人の名前がいっぱい書かれてあってこんなに死んだのに誰かわかるのがすごいと思った

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

自分で揺れ方はわからないかもしれないけどちょっとでも感じたらすぐ教えてもらった行動の仕方や今まで知っていた逃げ方を生かそうと思いました
特に考えたことは新聞やニュースの言葉を心でキャッチしようと思った

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

1995年1月17日の阪神淡路大震災は地面が動くように揺れると聞いた時はびっくりしました。当時の新聞を見ると阪神淡路大震災に被害を受けた方がたくさん収められていました。私は新聞にもこんなに収められるなんてどんな地震だったんだろうと考えてみました。新聞には『助けを求めている子』や『家族を助けるために地震と戦う子』など、当時の気持ちがわかりました。三好さんは『家は崩れ、お風呂も食料も生活する場所も全部失ったんです。それとあなたたちの生活はどのような生活ですか?』と聞かれた瞬間、私は今のこの生活が当たり前じゃないように感じられました。私はご飯を作ってくれた家族に『これまずい、違うやっつないん?』と言ってきたけど当時の人は嫌いでも食べないといけない状態だったとわかり、三好さんの言ったように『家族を大切にすることが大事』という言葉から、家族の作った料理などをまずいなど言わずに食べるのが大事だと思いました。前までは家族に殴ったり蹴ったりしていたけど私は三好さんの『家族を大切にすることが大事』という言葉は自分でもこれからの生活で使えるように覚えてました。

校長先生の授業で感じたことは『一人一人に命、夢、心があった』ということです。私は将来の夢など明日はこういう事をするという夢があったけど当時は亡くなった人の中でも個人的な夢や目標にあと一歩の人もいたかもしれない人がいたとわかりました。そんな自分は普通の生活も当たり前じゃないという事を覚えながら生活することが大事だと思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

考えたことは震災はいつ起こるかかわからないので事前に準備しておくことと、最後かもしれない家族の挨拶と、私の今の暮らしは当たり前じゃない。と言う事を覚えました。今後どのように行動するのは、自分の身を守るために震災と戦う事です。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

今回の三好さんの話で感じたことは、前もそうだけど、地震はやっぱり怖いし、防げるものでもないからどうすることもできないけど、いつ来てもいいように対策などはできると思うから、日頃から、地震が来てもすぐ逃げられるように準備しててもいいのかなと思いました。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

震災はとても怖いし、さっきも書いたように防げるものでもないけど、1995年1月17日より、今は技術がとても進んでいるから壊れる建物などが少ないと思う。実際に地震を体験した三好さんもとても怖かったと言っていたから、怖かった。

震災学習

体育館で三好さんのお話を聞いて感じたことや考えたこと、校長先生の授業で感じたことや考えたことを書きましょう。

三好さん

- ・「2度死なせない」という言葉を初めて聞いて意味を知った時、一度は普通に死んで、2度目は人の記憶の中からも消えてしまうことと言っていて、だからこの話を私たちが大人になった時に次の世代に繋いで行くことが大事だなと思った。
- ・阪神淡路大震災の動画を見たときに、室内では棚や写真が徐々に揺れ出して、一瞬で人が下敷きにされていました。屋外では、看板や花瓶がガタガタ揺れて、とても怖かった。

校長先生

- ・震災2日後とか3日後の新聞を見た時に死亡者とか避難所生活をしている人が増え続けていてとても驚いた。
- ・藤江小の体育館の天井が剥がれ落ちて、その時の避難方法は壁際によると言っていて、初めて知ったのでとても勉強になった。
- ・当時の藤江小の6年生の人たちの思いを見て、「もう2度と起きてほしくない。」と書いている人たくさんいて、どれほど大きな地震だったかがわかった。

震災についての学習を通して考えたことをまとめましょう。また、今後どのように行動していきたいのかを書きましょう。

私たちは大きな地震にまだ会ってないし、当時の人たちは関西は地震が起こりにくいという固定概念がありました。だからあまり当時は耐震基準を満たしていないものが多く、非常食のじゅうぶん準備されていなかったのが余計に死亡者や、避難所生活をする人たちが増えたんだと思いました。なので今の私たちにできることは、非常食をいろんな種類用意することや地震についていろんなことを調べて頭の中に入れておけば、死亡者が減ると思いました。